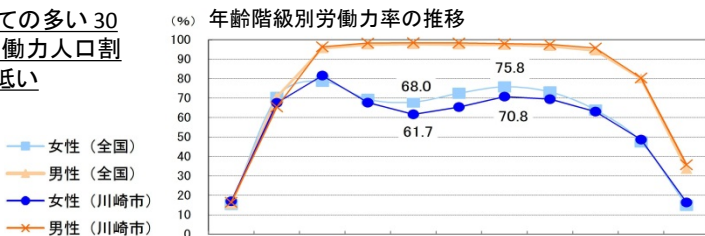


女性活躍の取組の推進について(川崎市)

川崎市の現状

- 若い世代の多い都市である※が、年少人口は、平成27年をピークに、生産年齢人口は平成37年をピークに減少見込み
※大都市(政令市・東京都区部)と比較し生産年齢人口の割合が最も高い(H22年国勢調査結果)

- 結婚や出産、子育ての多い30～49歳の女性の労働力人口割合が全国平均より低い

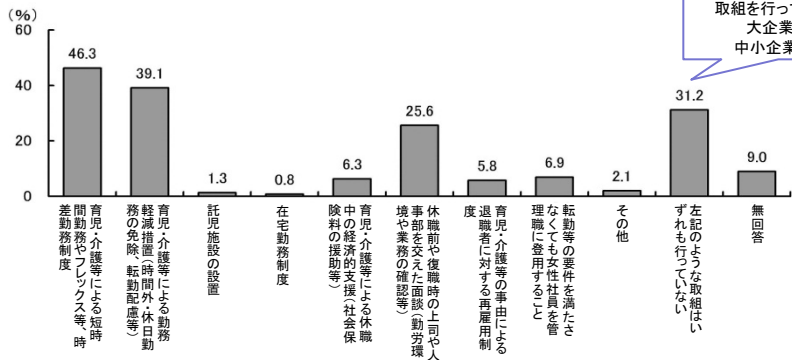


出典 平成22年国勢調査結果報告及び労働力調査(総務省統計局)

- 従業者300人未満の事業所割合 99%
従業者300人以上の事業所割合0.354%は大都市で第3位
(平成24年 経済センサス活動調査)

- 市内事業所における管理職に占める女性割合(H26) 6.2%*

- 市内事業所におけるワーク・ライフ・バランスの取組状況(H25)*



規模別
大企業6.5%
中小企業6.3%

取組を行っていない割合
大企業の5.4%
中小企業の38.4%

- ワーク・ライフ・バランスの取組促進への課題(H25)*

【上位項目】

- 業務量が多く、人員に余裕がない、代替要員の確保が難しい…34.7%
- 特に問題となるものはない…28.5%
- ワーク・ライフ・バランスの推進に関する社内の認識が乏しい…16.3%
- 収入が減ることなどへの不安により従業員が利用を望まない…14.9%

*は、各年度川崎市労働状況実態調査結果より(調査対象：市内2,000事業所を無作為抽出)

川崎市における取組

女性への就業等支援

- 女性の就業、就業継続、再就職に向けた支援
相談、保育サービス付就業マッチング、就職準備セミナー
- 多様な働き方支援
在宅ワークセミナー、女性のための働き方セミナー
- 起業を望む女性や起業した女性への支援
起業セミナー、無料相談会、女性起業家手作りマルシェ
- キャリアアップ支援
女性リーダー養成講座、キャリアサロン



川崎地下街(アゼリア)で実際に販売体験
女性起業家手作りマルシェ

経済団体等との協働による取組や働き掛け

- 働きやすい職場づくりに向けた情報提供や広報の実施
- 4県市連携による企業向けワーク・ライフ・バランス講演会の開催
- 一般社団法人川崎中原工場協会の「地域女性活躍加速化交付金」事業(H26)への支援及び連携した取組の実施
- かわさき男女共同参画ネットワークに
おける情報や好事例の共有

幅広い分野(産業、医療、教育等)の44団体が加盟。
平成27年度は、女性活躍事例などの情報共有を進めている。

若年層へのライフキャリア教育

- 「はたらくておもしろい」の発行



男女共同参画センター発行

- 男女共同参画センターにおけるインターンシップ事業の実施

意識啓発

- 仕事と暮らしの両立を図るため、ワーク・ライフ・バランスの推進に向けた講座・イベントの開催及び情報提供
- 働く場における男女共同参画に関する啓発パンフレットの配布等による意識啓発や情報提供
- 長時間労働抑制などに向けた周知・啓発

仕事と家庭の調和に向けた環境整備

- 子育て支援策の充実と保育サービス、放課後児童対策の充実
 - ・保育環境の整備等の充実
 - ・待機児童数0の達成(H27.4.1)
 - ・夜間保育や子育てヘルパー事業の実施等の多様な保育の拡充